

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010301020300		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	公民館活動事業		予算事業名	公民館活動事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる			担当課長	西角 隆行	担当者名	岡部 一成
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		社会教育法第5条						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする						
	事業の全体年度	事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度		

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	定期講座	回数	574	620	625	630
	定期講座受講者	人数	8610	9514	9883	9900

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計					事業費単位:円	
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
	臨時職員	3.716	3.400	91	3.400	100	3.420	101	
支出内訳	人件費	9,194,736	8,631,018	94	8,770,470	102	9,127,149	104	
	事業費	16,141,208	14,668,684	91	14,274,411	97	14,952,000	105	
	合計	25,335,944	23,299,702	92	23,044,881	99	24,079,149	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	25,335,944	23,299,702	92	23,044,881	99	24,079,149	104	
合計	25,335,944	23,299,702	92	23,044,881	99	24,079,149	104		

## ※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円				
	項目	23年度	24年度	25年度	26年度	/
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		定期講座参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	9600	8600	89.6	9600	111.6	9900	103.1	
	実績	8610	9514	110.5	9883	103.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

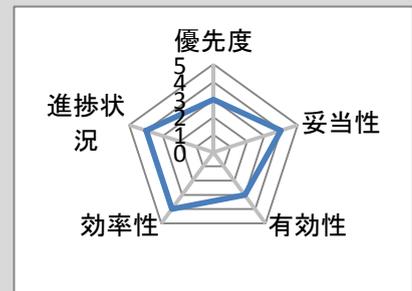
指標名1		参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	2502	1814	72.5	1587	87.5	2432	153.2	
	実績	2942	1590	54.0	2331	146.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	青少年の健全育成、高齢者の社会参加を促進することや、生涯学習を支援する	4
	市民ニーズ	高齢者社会となり、生涯学習に対する要求は非常に高いものがある	
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し、市民の生涯学習の支援を行った	3
	市民サービス	住民の幅広い学習ニーズに即応した事業を積極的に開催する	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	主催事業の参加者数増に努める



配点	32.5
総合評価	23

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	公民館等ホームページ等、広報の充実を図る

(2) 27年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直事項	これまであまり積極的に公民館活動に参加してこなかった中間年齢層(20~50歳代)のニーズに合わせた講座を企画することで、参加者の増加のみならず、地域活動全体への参画につなげていく。
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持